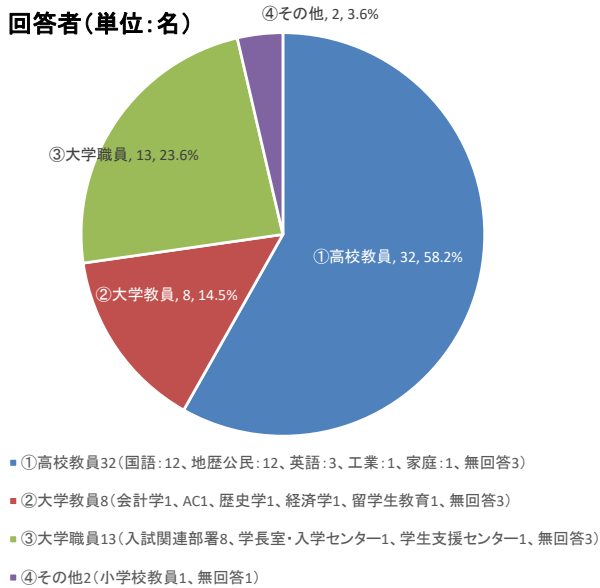
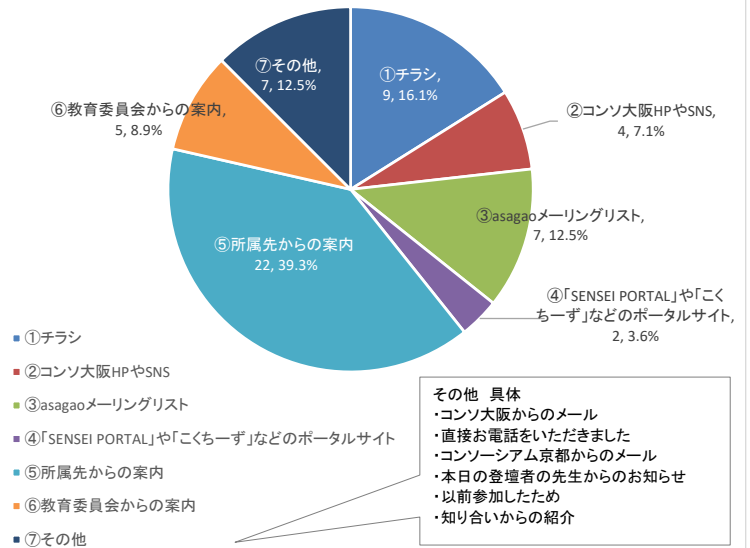


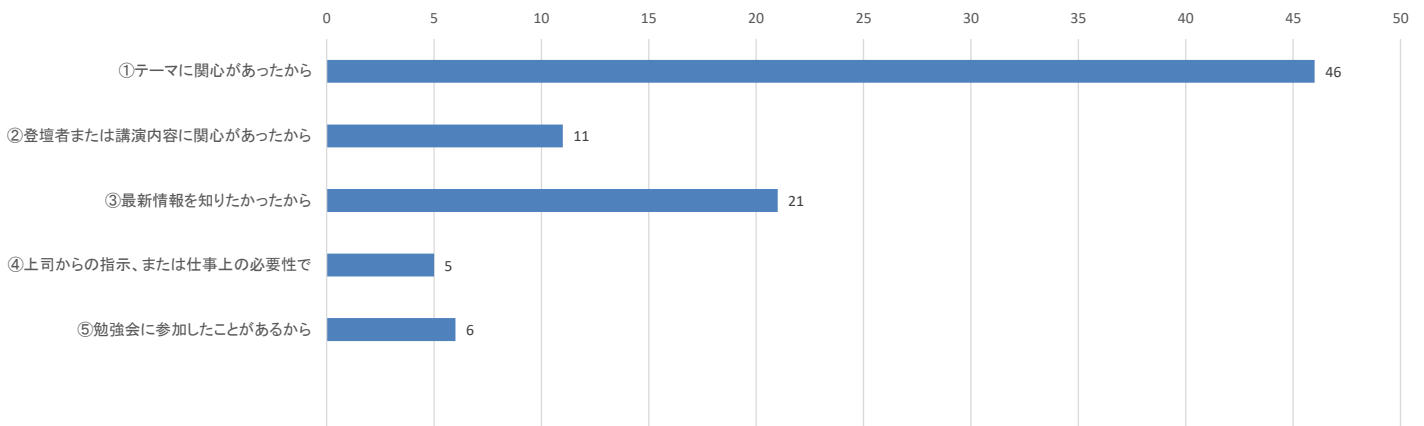
1. 回答者(単位:名)



2. 本フォーラムを知ったきっかけ(単位:名) ※1名より複数回答あり

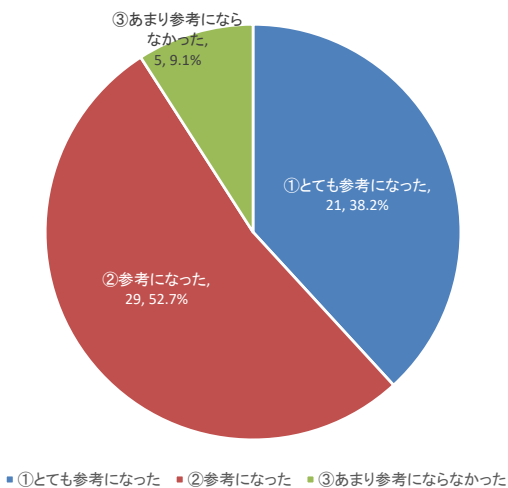


3. 本フォーラムに参加しようと思った理由(複数回答 単位:名)



4. 各プログラムについて

【基調講演①】(単位:名)



回答理由:

①とても参考になった

- ・入試改革の全体の流れが良くわかりました。
- ・我が意を得たり、という感じでした。
- ・テストや評価において、教育の論理と測定の論理の話が非常にわかりやすかった。プラス、現状の教育改革批判は非常に面白かったです。
- ・改革の背景・歴史から、今後の見通しが少し見えた。
- ・大学側から見た大学入試改革への問題点や、日本の教育制度についてなど、改めてわかったから。
- ・最新の情報が入手できたから。
- ・最前線におられる方の見方がよくわかった。
- ・大学が今考えていることを垣間見ることができた。
- ・正しいものを全て選べ、が2択を繰り返しているだけという指摘に反省しました。無意識に作問していることもある事に気づけました。テスト学会の本も読んでみたいです。

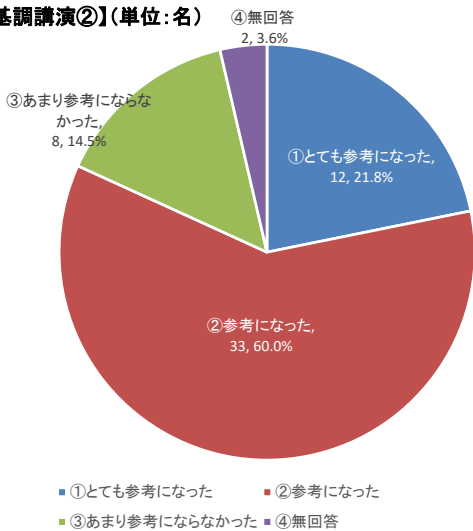
②参考になった

- ・大学側の立場、問題などがよくわかった。
- ・テストにおける問題の2つの論理(教育の論理と測定の論理)を知った。
- ・内容的に。
- ・新テストに変わるので、記述問題に対応できるなど、変更点を日常の授業に盛り込んで行っている現場の者としては、大学側の意識と差があると思いました。
- ・“良質な入試問題”と考えられる問題の、具体的な例を挙げていただきたかったです。
- ・入試改革の理想と現実に、かなりの開きがあることがよく分かった。
- ・歴史的な流れや整理は勉強になったが、タイトルに沿っていないと思われる。

③あまり参考にならなかった

- ・改革は意味がないという論調だったので、高校側としての対応を判断しづらかったため。
- ・中堅私学がどうすればいいかというアイデアが見えてこなかった。
- ・入試制度の批判に終始した内容だと思われたから。

【基調講演②】(単位:名)



回答理由:

①とても参考になった

- ・単元のデザインについて理解が深まりました。
- ・南部先生の話はわかりやすく良かったです。
- ・現場がしなければならないことが明確になりました。とてもわかりやすく、例も挙げていただき、理解が深まりました。
- ・「単元をデザインする」について、今後の勉強になりました。
- ・これから考えていくべきことの指針が見えてきた。

②参考になった

- ・これからの教育に必要なものが何かを考える意欲が湧いた。
- ・高校の教科の単元のデザインをどうしようとしているのかを知った。でも、こういう内容を講演していて大丈夫か？大学を目指す生徒は育てて行っているのか。
- ・テーマに沿った内容でわかりやすかったから。
- ・改めて授業デザインの大切さ、シラバス+candoの効果的な組み合わせによる、授業のデザインの重要性を認識できました。

③あまり参考にならなかった

- ・よく知っている内容
- ・内容が全て知っていることばかりだったので。
- ・ごく普通の話に終始していた。
- ・すでに情報として皆さんが持っていることではないか？もう一歩踏み込んだ話を期待していた。

回答理由:

①とても参考になった

- ・具体的な実践例が聞けたので。
- ・問題の設定など、視点を交えるだけで問題や課題の出し方が大きく変わることがわかりました。
- ・単純に感心した。
- ・国社ともに思考に重点を置いた内容で、具体的だったから。
- ・教科は異なりますが、ALや、生徒の思考力や表現力を引き出すテストの作り方など、具体的に例を提示していただけました。明日からの授業・テストにとても参考になりました。
- ・新しい授業スタイルに挑戦されている様子がよく分かった。これを参考に、さらに授業を良くして行きたい。
- ・お二人とも発表の内容・表現がわかりやすく、素晴らしいから。
- ・国語:様々な挑戦をされており、よい勉強(刺激)になった。地歴公民:先にテストを行うなら別だが、授業の後にテストなら可能性のある複数の要因をコンパクトにまとめ、盛り込んで記述するのが最も得点の高い模範解答になり、例えば一つしか書いてなければ部分点、という扱いになるのでは？と思いました。
- ・両先生とも、勉強し工夫されているのは大変よかった。特に中藪先生が挙げられたALクラスの方がスコアが高いなどは、ALを導入すると授業の進行に悪影響を与えると危惧されるが、それが問題のないことだという例だと感じた。
- ・授業のスタイル、試験問題作成について参考になった。
- ・現場で工夫をされている先生の実践を聞いて勇気が出ました。

②参考になった

- ・現場の先生方の工夫が参考になった。
- ・大学のアドミッションポリシーが入試作問に表れていると高校教師が考えていることがわかった。
- ・国語は参考になった。
- ・国語の方はツールをはじめ、最後の主体的で深い学びの授業を行っていくための条件がまとめられていて、とても共感できました。
- ・ALの評価方法についても聞きたかったです。

③あまり参考にならなかった

- ・地歴公民は時間が少し短く、資料などが省略されているところがあったため。

回答理由:

①とても参考になった

- ・より深く知ることができました。
- ・多くの情報を学べました。
- ・ありがとうございました。パネルディスカッション、とても興味深かったです。
- ・先生方のご意見を聞きながら、今後、本校でやって行かねばならないことが見えて来ました。ありがとうございました。
- ・高校・大学、双方での授業・講義に使える要旨があったから。
- ・パネリストの立場の違いが意見の差にも見られ、大変参考になった。
- ・ありがとうございました。
- ・高校・大学、双方のリアルがわかるような発言が多く、大変満足した。
- ・わかりやすい対策はないけれど、地道に取り組むことが大切だということも見えました。
- ・倉元先生と恩知先生のお話。

②参考になった

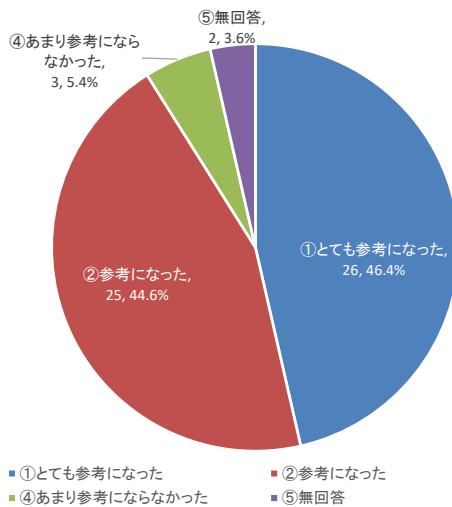
- ・現場の教員をまとめる立場である先生のお話は、わかりやすく励みになりました！ありがとうございました!!
- ・もう少し時間を長くて欲しかった。
- ・題目と内容が随分違いました。勉強にはなりませんが..
- ・マイクがちゃんと入っていないと、聞き取れないことが多かった。
- ・様々な立場の方々の考え方を聞くことができたため。
- ・大学側より高校側のパネリストの方が発言の切れ味がよくて面白かった。
- ・恩知先生、仲矢先生のお話が具体的に良かった。

③あまり参考にならなかった

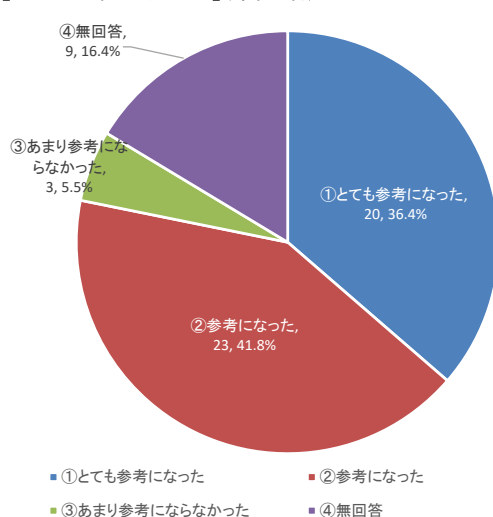
- ・議論があまり絡み合っていなかったように感じた。

【勉強会成果報告】(単位:名)

※1名より複数回答あり



【パネルディスカッション】(単位:名)



5. 本フォーラム全般についての意見・感想

・今まで3回の高大連携・接続勉強会に参加させていただきました。3回とも非常に勉強になりました。その上で今日の総括フォーラムに参加し、あたためて高校教員としての立ち位置や、今後への課題を意識することができました。本日のことを本校教員と共有し、より良いものにして行ければと思います。本当にありがとうございました。

・今後の指針として、とても参考になりました。ありがとうございました。

・予備校で開催される勉強会や交流会とは、180° とまでは言わないが、90~120° 位は違う見方と思わずにいられないような、貴重な機会を頂きました。ありがとうございました。

・高校側の考え方を知ることができたことが、いちばんの収穫です。

・参考になることが多く、明日からの授業や指導に活かせることを、しっかり持ち帰りたいと思います。ありがとうございました。

・倉元先生の測定の論理という視点からの指摘、バタバタするなという指摘は高校現場でもしっかりと受け止める必要があると感じました。本校でも改革に向けてバタバタと動き出していますが、じっくりと生徒の思いに向き合い、必要な手立てを共に考えていくことができればと考えています。恩知先生のおっしゃった“モヤッ”とさせる授業を目指して、日々勉強して参りたいと思います。

・高大接続改革について批判的な意見が聞けたことと、国語の実践報告については大変参考になりました。

・結局、教育活動というのは鋭敏な気づきと、実はシンプルな基準づくりと、泥臭い努力をいとわない忍耐力が必要だということが分かった。

・日本の将来を担う子ども達に何を期待するか、どのような人材として育てるかをしっかり見据えて、学校という組織が機能するように仕事をして行かなければならないと考えています。

・私たち現場の教員が担うべき役割を見直す機会が、今回の大学入試改革だととらえるべきだと思います。

・日本の未来を担う高校生をどう育てていくか、という視点がなく、個別の地域の大学の事情ばかり言葉にされても聞いていて心に響かない。ゆるやかにのんびり改革していいは、あっという間に高齢化社会ですべて手遅れになるのではないかと...、という気がします。教育が変わらなければ育ってくる人材も変わらず、それで今後の社会を乗り切っていくのでしょうか？変わらないでいることは、大学にとっても高校にとっても楽な道なのですが、それでいいのかと考えさせられました。パネリストの先生方の立場の違いが見えて、その意味で興味深かったですが、高校教員としては今現場が持っている“あせり”は、別に大学入試改革のためばかりではないと感じています。実際の生徒たちの教育の質に関して、もっと切実な思いを抱いています。

・大学入試改革については、大学の先生方の中でも賛否両論いろいろあるということもわかりました。高校現場では、これからどうして行かねばならないのか考えることに迫られています。もう少し具体的なサジェスションが得られる話も欲しかったです。ありがとうございました。

・私には現場での時間が残り少ないので、若手の先生方を中心とする組織作りとシステム作りを急がなければなりません。本校での学習指導室を任されている立場ですので、より多くの情報をお知らせいただけたとありがたいです。よろしく願います。本日はありがとうございました。

・テーマに対して認識と見識の高いパネリストを集めて欲しい。恩知先生はさすがです。しかし、北野校長のお立場をここは一旦離れて、想いを聞きたくもあった。

・この手の企画に参加していつも思うが、想定される生徒・学生のレベルが高いということ。中堅私学に来る生徒たちには、まずない属性である。そういう子たちを相手にALするにはどうすればいいか？それをいつも悩んでいる。

・「授業や教育」についての議論、生徒の進路指導についての話、制度の話、大学入学選抜の話...、と多岐にわたる議論へと拡がってしまうが故に、結局どの議論も深まらないな、と思った。

・入試改革はそのまま高等学校の教育改革につながるものとして、我々は情報を集め、その対応に苦慮しているのであるが、今日の倉元氏の話のを伺うと、期待通りの入試改革、またその成果にならないとおっしゃる。それでは準備をしている我々高校教員はどうしたらよいのか途方に暮れてしまう。それに対して南部氏は、次期学習指導要領を踏まえてのお話で、ほぼこれまで周知されてきた内容だと思うが、倉元氏のお話と南部氏のお話を同時に聞いた、我々高校教員は、やっぱり何をすればよいのか分からない状態になってしまう。そこは自分たちで考えろ、考える者が勝つ、という事なのだろうか？さまざまな情報の提示にとどまらず、貴勉強会としてのスタンスを示して欲しいと思う。

6. 今後の勉強会、フォーラムで取り上げて欲しいテーマ

・今回の改革後の状況を知る機会があれば、ありがたいです。

・一年間を通じたアクティブラーニングによる授業の展開。設計と実行上の留意点(地理歴史・公民)。

・アクティブラーニングを取り入れることによって、歴史の授業において思想的な話も出てくるのかと思います。それを授業でどう取り扱うのか知りたいと思いました。

・ALを踏まえての評価方法をどうされているのか、実践例と改善策や、新たな評価方法の考案をするような勉強会はないものでしょうか？(具体的にどんなテストにするか？大学入試にもつながる形で示せるのか？)

・入試における評価者研修、評価に関する勉強会・授業づくりは当然、授業者が責任を持って各自で行うものだろうが、これだけ教育改革・授業改革が叫ばれている中なので、模範一理想となる授業を示してあげて欲しい(具体的なものの提示を！)。若い先生方の戸惑いは目指すべきものがイメージできないことにあるのではないかと思います。

・学校現場でのカリキュラム・マネジメントの具体例。各学校で作っていきものですが、多方面にわたって考えなければならぬことが多く、どこまでカリマネとして行けば良いのか、考えてしまいます。カリマネを作っておられる例をお伝えいただけると参考になると思います。

・教科書に載っていないが、入賞した文芸作品を自主教材として取り扱う際の問題点について。(世間では読まれているが、教材として取り上げるのに問題があるかどうか。政治性や性的な表現について、どう考えるべきか。)

・高校だけでなく、小中高大が連携した教育改革の内容と、それに向けた現場での具体的対策。

・大学と高校で協働を上手くするにはどんな歩み寄りが必要か？授業(日常の)レベルでは無理なのか？その活動は学ぶ意欲や主体的に課題を見つける、よいきっかけにならないのか？